

ティチーノ・ムジカ
夏期国際音楽アカデミー
マスタークラス

要 項



株式会社東京国際ツアーズ

後援 一般社団法人 東京国際芸術協会

<実施概要>

この若い音楽家達を対象にした国際音楽アカデミーではレッスンを通じて国際的な活躍を目指す受講者たちのためのレッスンが開講されます。教授陣は世界的に有名な演奏家と音楽大学の教授陣で構成され、名指導者から指導を受けられる貴重な機会となっています。新しいアンサンブルを結成してコンサートを開くまでのワークショップも開講され、実際の演奏体験に役立てることができます。全てのレッスンが聴講出来ますので多くの有名教授のレッスンを見学することができます。7月17日から開かれるティチャーノ・ムジカ・フェスティバルにて様々なコンサートを聴く機会にも恵まれます。

<マスタークラス日程>

2016年7月17日～7月30日 ※教授により一部短期コースあり

※短期コースにご参加の方も室内楽などに参加される場合には全日程での参加をお勧めしております

<開催地>

スイス・ルガノ スイスイタリア音楽院内

<レッスンについて>

レッスン科目:声楽、ピアノ、オルガン、ピアノ伴奏、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、フルート、オーボエ、クラリネット、バスーン、ホルン、トランペット、チューバ、ギター、ハープ、ピアノ室内楽、作曲

※プライベートレッスンは2日に1回程度ですが、教授、人数、レベル等により回数の変更がある場合があります

※原則的にオーディションはありませんが、人数が多い場合など、教授の判断により事前、または現地にてオーディションが行われる場合がありますので、十分な準備をお勧めいたします

※7月17日にはオープニングコンサートが予定されています。原則7月17日に到着し、マスタークラスは18日の朝9時から開始されます。

※7月17日の18時半までに受け付けをする必要があります。

<講習会参加費>

申込金:250フラン 受講料:575スイスフラン

<滞在>

学生寮(シングルまたはダブルダブルルーム) 3食付き(日曜は食事無し)790スイスフラン

その他、ホテル、ユースホステルなどの手配も可能です。詳しくはお問い合わせください。

学生用レストランにて食事をとることも可能です(朝食6スイスフラン、昼食・夕食12スイスフラン)

<渡航について>

ミラノ・マルペンサ空港からバスで約1時間15分

ミラノ到着時間によりミラノにて1泊となる場合がございます。ホテルやバスの手配を承ります。

※ご希望の方には格安航空券の手配を別途承ります。

お申し込み後のキャンセルの場合、航空券の券種により規定のキャンセル料が発生します。航空券手配時に詳しくご案内いたします。

<レートについての注意事項>

上記費用のレート計算につきましては、費用ご請求書発行時(お申し込み受諾後)のレートを適用させていただきます。

レートにより、日本円の費用が変動になる可能性がございます。ご了承下さい。

<申込方法>

要項挟み込みの申込書に必要事項を記入の上、東京国際ツアーズまでお送りください。

また、申込書にはパソコンメールのアドレス(ない場合は携帯のアドレス)を必ずご記入下さい。

<当社申し込み締め切り>

2016年5月16日 ※締切前でも満席などの理由によりお受け付けができない場合がございます

<申込手続き>

申し込みに際して、事務手数料24,840円及び受講料の海外送金費用8,640円及びマスターコース授業料の10%にあたる金額が必要となります。

<キャンセルについて>

お申し込み後のキャンセルの際はキャンセル料として事務手数料24,840円と海外送金費用8,640円を申し受けます。授業料の返金はマスタークラスの規定に準じます。

※記載の情報は2016年3月時点のものです。予告なく変更となる場合がございます。

ティチャーノ・ムジカ夏季国際アカデミーマスタークラス担当教授

声楽: Edith Mathis エディス・マチス



スイス生まれ。チューリッヒでデビュー後ケルンオペラ座、ハンブルクオペラ座、ベルリンオペラ座、ロンドンロイヤルハウス、メトロポリタンオペラ、パリオペラ座、ミュンヘンオペラ座、ウィーンオペラ座など数多くの著名オペラ座、ザルツブルク音楽祭、グラインドボーンフェスティバルなど多くの音楽祭で公演を行う。スザンナ(フィガロの結婚)、ツェルリーナ(ドンジョヴァンニ)、ソフィア(薔薇の騎士)などを好演。1979年宮廷歌手の称号を得る。1992年から2006年までウィーン音楽大学教授を務め世界各国でマスタークラスのレッスンを担当。

Olga Romenko オルガ・ロメンコ



モスクワ生まれ。グネーシン音楽大学卒業。1987年リオデジャネイロ国際コンクールで優勝。1988年からソリストとしてイタリア、スイス、スペイン、ドイツ、英国にて活動を始める。2000年ウィーンオペラ座デビュー。2004年以降著名な劇場に多数出演。

ピアノ: Adrian Oeticker アドリアン・エティカー



スイス生まれ。父、ハンス・ルドルフ＝ボラーにピアノの教えを受け、チューリッヒ音楽大学でオメロ・フランセシュに、ジュリアード大学でベラ・グヴィドヴィッチに師事。1995年にはミュンヘン国際ピアノコンクールで優勝。世界各国で公演をひらくと同時に多くのオーケストラと共演する。1996年よりバーゼル音楽大学のピアノ教授を務め、2011年にはミュンヘン音楽大学教授に就任。レンクサマーアカデミーの音楽監督。

オルガン: Stefano Molardi ステファノ・モラルディ ※短期コース 7/22-7/29



オルガニスト、音楽学者、チェンバロ奏者、指揮者。ウィーン国立音楽大学にてミハエル・ラドレスクに師事。インスブルックで行われたパウル・ホフハイマーオルガンコンクールなど数多くのコンクールで受賞。また多数の著名なホールでソリストや室内楽奏者として活躍。スイス・スヴィツェラ・イタリアーナ音楽院教授、イタリア・トラバーニ音楽院“アントニオ・スコントリーノ”教授。指揮者としてもハンガリー、ドイツ、フランスなどヨーロッパ各地で活躍している。

ピアノ伴奏・ピアノ室内楽: Ulrich Koella ウルリッヒ・ケッラ



スイス人ピアニストで室内楽奏者、ピアノ伴奏者として著名な演奏家達とワールドワイドな活躍をしている。近年シモーネ・グラッゲンとのモーツァルトとベートーヴェンのピアノ・ヴァイオリンソナタやラファエル・ウォルフィッシュとのベートーヴェンのピアノとチェロのための二重協奏曲の演奏に力を入れている。スイス・チューリッヒ高等音楽院教授でイスラエル、アメリカ、中国、スイスなどでのマスタークラスも手掛ける。

ヴァイオリン: Marco Rizzi マルコ・リッチ



モスクワでのチャイコフスキー国際コンクール、エリザベート王妃国際音楽コンクール、インディアナポリス国際ヴァイオリンコンクールという3大コンクールで優勝、特に演奏の質、力強さ、曲の解釈が優れているヴァイオリニストとして知られている。若きヴァイオリニストとして世界で活躍を続ける。2008年からドイツ・マンハイム音楽大学教授、2007年からスペイン・ソフィア王妃音楽大学主任教授を勤める他、ハノーファー国際ヴァイオリンコンクールやバガニーニヴァイオリンコンクールの審査員も勤める。

ヴァイオラ: Hariolf Schlichtig ハリオルフ・シュリヒティック ※短期コース 7/24-7/30



ケルン音楽大学にてマックス・ロスタルに師事。アーヘン音楽大学にてヴァイオラ、ヴァイオリン、室内楽の教授を勤める。多くの著名な指揮者と共演。世界の有名ホールで演奏会を開催する。ミュンヘン音楽大学教授としてヴァイオラと室内楽を教授。

チェロ: Johannes Goritzki ヨハネス・ゴリツキ



ガスパール・カサド、アンドレ・ナヴァラ、パブロ・カザルスに師事。ルドルフ・ゼルキン、ユーディ・メニューインと共演。数々の音楽祭にて演奏する他、数多くのCDをリリース。ドゥッセルドルフ・メンデルスゾーン・フィルハーモニーの首席指揮者であり、スイス・スヴィツェラ・イタリアーナ音楽院教授。

コントラバス: Enrico Fagone エンリコ・ファゴーネ ※短期コース 7/24-7/30



1979 年生まれ。トリノ・レッジョ劇場のオープンコンペティション、スイス・イタリアーナ管弦楽団のファーストソリストを決めるコンペティション、ルガーノ音楽大学のコントラバス教授を決めるコンペティションなど数多く優勝。G.ニコリーニ音楽大学にてレオナルド・コロナに師事。数多くの音楽祭に招へいされる一方、スイス・イタリアーナ管弦楽団の首席コントラバス奏者を務め、数多くのオーケストラとも共演。2010 年からはアルゲリッチプロジェクトのアンバサダーを務める。

フルート: János Bálint ヤーノシュ・バーリント



ブダペストのフランツ・リスト音楽大学にて学ぶ。1981 年から 1991 年までブダペスト・シンフォニー・オーケストラのフルートソリストを勤める。1984 年にアンコーナ国際コンクールにて優勝。1986 年にツィフラ財団の奨学金を受ける。数多くの演奏会にてソリスト、室内楽奏者として活躍。1987 年からローマのレスピーギ音楽院の客員教授を勤める。ハンガリー・セグド音楽学院、ドイツ・デトモルト音楽大学教授。

オーボエ: Ingo Goritzki インゴ・ゴリツキ



ベルリン生まれ。デトモルト音楽大学に学ぶ。1976 年にハノーファー音楽大学、その後シュトゥットガルト音楽大学の教授就任。シュトゥットガルトの国際バッハアカデミー、他世界中でマスタークラスを担当。シュトゥットガルト音楽アカデミーの共同創立者でロットヴァイルのクラシックフェスティバルの芸術監督。ソリスト、室内楽奏者として世界的に活躍している。

クラリネット: Philippe Cuper フィリップ・クーパー



1984 年からパリのオペラ座管弦楽団の首席クラリネット奏者。チェコフィルハーモニー。バイエルン放送交響楽団など 60 以上の著名なオーケストラと共演。多くの有名指揮者とも共演している。

サクソ: Preston Duncan プレストン・ダンカン



ミネソタ大学にてユージーン・ルソーに師事。多くの国際コンクールで賞を勝ち取り、現在ミネソタ大学にてサクソスを教え、同博士号を取得している。

バスーン: Gabor Meszaros ガボール・メサロシュ



音楽家の一家に生まれ、26才でバレアリックシンフォニーオーケストラの首席バスーン奏者となる。1998年にルガーノ音楽院の教授就任。2000年にユネスコが主催しニューヨークのリンカーン・センターで行われたミレニアムガラコンサートにメインのバスーン奏者として招待された。多くのマスタークラスで指導をする他、演奏家としても幅広く活躍している。スイス・スヴィツェラ・イタリアーナ音楽院教授。

ホルン: Johannes Hinterholzer ヨハネス・ヒンターホルツァー ※短期コース 7/18-7/23



ザルツブルク・モーツァルテウムにてヨセフ・メイヤー、ラドヴァン・ブラコヴィックに師事。1997年から2009年までモーツァルテウム管弦楽団のホルン首席奏者を務める。2000年から2010年までリンツ・アントン・ブルックナー大学にて教鞭をとり、2008年からミュンヘン音楽大学の教授となる。

トランペット: Eric Aubier エリック・オービエ ※短期コース 7/24-7/30



14才にしてパリ国立高等音楽学校にてモーリス・アンドレアスに師事。19才にしてパリ歌劇場管弦楽団のトランペットソリストを務める。多数の著名オーケストラと共演。多くのCDをリリースし、各地の音楽大学で教鞭をとり。

トロンボーン: David Bruchez-Lalli ダヴィド・ブリュシェーラリ ※短期コース 7/14-7/30



チューリッヒ・トンハルレ・オーケストラ首席トロンボーン奏者。チューリッヒ音楽大学の教授を務め、チューリッヒのユースオーケストラの指揮者も務めている。

チューバ: Rex Martin レックス・マーティン ※短期コース 7/24-7/30



世界で最も熟練したチューバ奏者で教師の一人。3000以上のラジオ、テレビ番組で演奏。著名なオーケストラと多数のレコーディングを行う他、有名指揮者とも共演している。世界各国のマスタークラスにて教鞭をとり。1995年に国際チューバ・ユーホニウム会議のホストを勤める。アメリカ・ノースウェスタン大学音楽部教授。

ギター: Lorenzo Micheli ロレンゾ・ミケリ



ヨーロッパ各国で500以上の演奏会をひらき、また音楽雑誌にも記事を掲載する。2002年からマッテオ・メラと「ソロデュオ」というデュオをくみ世界で活躍、ワシントンポストに絶賛される。ギタリストとして精力的に活躍し、数多くのCDをリリース。スイス・スヴィツェラ・イタリアーナ音楽院教授、イタリア・イステイトウト・ムジカーレ・パレヅジャート・ヴァッレ・ダオスタ教授。

指揮: Arturo Tamayo アルトゥーロ・タマヨ ※短期コース 7/18-7/28



フライブルグ音楽大学にてヴォルフガング・フォートナー、クラウス・フーバーに師事。1977年から指揮者としてキャリアを積み、数々の著名オーケストラを指揮する。

作曲: Mathias Steinauer マティアス・シュタイアウナー ※短期コース 7/18-7/28



Ondřej Adámek オンドジェイ・アダームек ※短期コース 7/18-7/28



1979年ブラハ生まれ。2004年ブラハ音楽大学作曲科を卒業、その後パリ高等音楽院にて作曲を学ぶ、ブリュッセル、ハンガリーなどで数多くの賞を受賞。

<お問合せ・お申込み先>

株式会社東京国際ツアーズ

観光庁長官登録旅行業 1353号 日本旅行業協会正会員

〒116-0002 東京都荒川区荒川 3-74-6-301

TEL 03-6806-7820 FAX 03-3806-8556

<http://www.ti-tours.com/abroad> master@ti-tours.com